



# プールが釣り堀に変身

## 町会祭の「みんなのぬまぼり」

「みんなのぬまぼり」は、旧沼袋小学校のプールにコイやフナ、金魚など約700匹を放流した釣り堀です。2016年から、沼袋・野方地域の九つの町会・自治会が共同で運営。今年で5回目となるこの催しについて、運営責任者の長谷川嘉昭さんに話を聞きました。



## 地域に根付いた「みんなのぬまぼり」

### 「みんなのぬまぼり」はどういう場所ですか

ぬまぼりには、「地域の子とも大人の交流の場所づくり」という狙いがあるんですよ。ここでは、年配者が子どもに餌の付け方を教えるといった光景がよく見られます。普段接することの少ない異世代と顔見知りになれる場になっているのではないのでしょうか。また、複数の町会等で運営しているので、町会同士のコミュニケーションの場にも。町会運営の様子などお互いに参考になります。ラジオ体操の開催方法などちょっとしたことでも気軽に話せるようになりました。

### 続けてきた手応えはありますか

例年5月中旬から実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、5月になっても告知できなかったんです。すると、町中で多くの方から「今年はやらないの」と質問が。それだけぬまぼりが根付いているんだなと実感しました。そこで、人数制限や検温、アルコール消毒など感染防止の対策を取り開催することを決定。7月12日ようやく初日を迎えました。午前9時の開場から盛況で、みなさんに待ち望まれていたんだと、やりがいを感じました。

長谷川嘉昭さん



水中に空気を送るポンプの配管工事は、地元の水道屋さんが無償で施工してくれました。その他にもプール清掃など地域の方がさまざまなボランティア活動で支えています。

検温してから入場します



## 釣り堀って楽しいよ 参加したみなさんの声



3世代で来ています

30分で5匹釣ったよ。釣り堀大好き

82歳です。集中して釣りを楽しんでいます

毎年来ています。違う学校の子とも会えるし、魚との駆け引きが楽しい

## ぬまぼりのことなら私たちに任せて

奥山武雄さん



年間を通して、ほぼ毎日魚の世話をしに来ています。今では、手をたたくと魚たちが寄ってくるんですよ。子どもたちが魚を乱暴に扱うのを見掛けると、こうやるんだよとルールやマナーを教えます。すると子どもたちも私の顔を覚えてくれて、町中でも「おじさん、おはよう」とあいさつしてくれるようになりました。

丸山勇さん



貸し竿の仕掛けなどを全部作っています。毎回300本分くらいを1週間掛けて直します。とても大変な作業だけど、やりがいがありますよ。釣り仲間から「手伝ってほしい」と声を掛けられて参加したけど、みんな喜んでくれるからこれからも続けたいですね。



▲道具箱の中には釣り糸や針がぎっしり

## みんなも来てね

- 日時** 10月25日までの毎週日曜日、午前9時～正午
- 会場** 旧沼袋小学校 (沼袋3-13-2)
- 参加費** 100円 (餌代。中学生以下のお子さん、70歳以上の方は無料) ☆マスクを持参し、当日直接会場へ。雨天中止。状況により休止になる場合があります

釣れた魚はキャッチ&リリース!

